

書籍出版記念セミナー

欧米の審査官は日本からのAI・ソフトウェア 関連発明の出願をどう審査するか？ 事例から学ぶ出願ドラフトTips

2025年9月24日(水) 16:00~17:00

アーカイブ配信も実施(2週間)
・聞き逃しても安心! / 期間内は何度でも



発明推進協会より
8月29日発行予定!



講師：小代 泰彰 氏
日本弁理士
Maiwald特許法律事務所（ドイツ）勤務

受講料

無料

申込



http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html#tokubetsu

定員

70名(要事前申込、先着順)

近年、AI・ソフトウェア関連発明の日本からの特許出願が多くある一方で、欧米では発明該当性や進歩性の判断方法等で日本と異なる点もあり、思わぬ拒絶理由に直面するケースが少なくありません。本セミナーでは、書籍「日米欧AI・ソフトウェア関連発明の審査基準・事例分析と特許出願ドラフト戦略」の内容を基に、米国特許商標庁及び欧州特許庁の審査官がAI・ソフトウェア関連発明の出願をどのように審査しているのかについて、日本特許庁と比較しながら、最新の審査基準と実際の審査事例を踏まえて概説します。また、拒絶のリスクを軽減し、権利化可能性を高めるための出願ドラフトの工夫(Tips)について事例を通じて紹介します。

アジェンダ
(予定)

- ・ 導入
- ・ 日本特許庁によるAI・SW関連発明の審査のおさらいと事例紹介
- ・ 米国特許商標庁によるAI・SW関連発明の審査の概説と事例紹介
- ・ 欧州特許庁によるAI・SW関連発明の審査の概説と事例紹介
- ・ 各国の審査方法の違いを踏まえた留意点

※解説資料は当日画面共有のみとなります。

講義終了後、資料ご希望の旨、ご連絡をいただいたお客さまへ、後日、講師よりデータを送付させていただきます
(詳細は、講義当日にご案内をさせていただきます)。

お問い合わせ先: (一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439